総会ニュース

新会長に石原徹一氏
県鑿井組合連「力強い体質に」

静岡県鑿井組合連合会（倉田誠会長）は13日、静岡市内のホテルで第43期通常総会を開き、石原徹一氏を新会長に選出した他、安全衛生教育の強化などを盛り込んだ2014年度事業計画などを承認した。

石原新会長＝写真＝は、「倉前会長の多大な貢献、実績に心から感謝する」とねぎらいの言葉を述べた後、「今後、民間需要は増えていくと期待する。技術の向上に努めながら、さらに力強い体質にしていきたい」と協力を要請した。

顧問に就任した倉前会長（倉田誠会長）は、業界の現状と課題を報告し、「われわれの基本方針である安心して利用できる地下水を供給するという精神を忘れず、さらなる発展を目指そう」とあいさつした。

議事では、職長・安全衛生責任者教育、低電気取扱い講習会開催の他、奈良県天川村にある洞川源水群への視察研修などを決定。鑿井業の健全化、会員相互の信頼と協調を図っていくことなどを確認した。

新部会長に植松盛雄氏
下水道管路協県部会「法人の役割果たす」

日本下水道管路管理業協会中部支部静岡県部会は18日、静岡市内で全体会議（総会）を開き、2014年度事業計画を決めるとともに、新しい部会長に植松盛雄氏（鈴与建設顧問）を選任した。

植松新部会長＝写真＝は、岡本彦一前部会長に感謝の意を表した上で、「災害発生時などで協会は全国組織で動くことができる。専門業者として勉強をし、公益社団法人としての役割を果たしていきたい」とあいさつした。

14年度も引き続き災害時の応急対策訓練研修を行う。今のところ、8月に浜松市内で実施する計画だ。また緊急伝達訓練を8月、下水道事業災害時中部ブロック連絡会地震災害訓練を9月にそれぞれ予定している。

この他、下水道管路管理技士試験（7、8月）、日本下水道事業団認定試験対策講習（10月）なども盛り込んでいる。

部会長を除く新役員は次の通り（敬称略）。

▽顧問＝岡本彦一（須山建設）▽副部会長＝西岡京司（富士ロードサービス）、金原秀明（須山建設）▽幹事＝袴田敏秋（東海下水道整備）、大石定義（井出組）▽監事＝北條靖（エイコウサービス）

代表幹事3人ら全役員再任
静建工「知恵絞り変化に対応」

静岡県建設業協会昭和会（代表幹事3人をはじめ全役員の再任を決めた。

中村信吾代表幹事＝写真＝は「国土強靭（きょうじん）化基本計画が決まって、業界にとってありがたいが、反面、施工体制が心配。総会を機に課題を点検し、知恵を絞って変化に対応していきたい」とあいさつした。

14年度事業では、研修・講習会として秋季研修会、有識者による講演会（1月ごろ予定）を計画。また交通ネットワークに関する諸問題の調査・研究・技術交流を行う。東・中・西のブロック活動を展開する他、高校生、専門校生を対象とした建設論文募集事業なども実施する。議事終了後、国土交通省中部地方整備局の県内7事務所の所長が講師を務め、14年度の事業概要などを説明した。

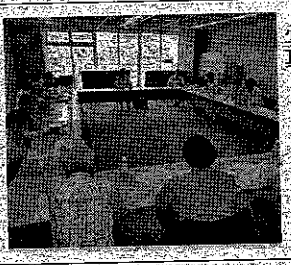
新規に長期優良住宅認定申請書
県建築物安全確保支援協会

NPO法人静岡県建築物安全確保支援協会（村松由雄会長）は18日、静岡市内で通常総会を開き、建築物の定期調査（検査）の受託や公的団体の建築技術支援の他、新規事業の長期優良住宅認定申請書作成業務などを柱とした2014年度の事業計画と予算を決めた＝写真＝。

役員の辞任（所属団体の変更）に伴う役員選出では、後任理事として遠藤正幸静岡県建築士事務所協会会長（倉備豊静岡商工会議所理事）を選出した。遠藤理事は、理事の互選により副会長となった。

公共建築の日に講演会や見学会
建築学会静岡支所

日本建築学会東海支部静岡支所（渋谷忠志支所長）は20日、静岡市内で2014年度の総会を開き、11月の公共建築月間・公共建築の日に合わせた講演会や見学会の開催などを柱とした事業計画と予算を承認した＝写真＝。



議事ではまず、14年度の事業計画として、公共建築の日講演会や建築文化研究会講演会を11月に関係団体と連携して実施する他、支所としての見学会を開くことなどを決め、これに伴う予算を承認した。

総会後、静岡市内で進む静岡県草薙総合運動場体育館建築工事を対象に、14年度事業の第1回見学会を行った。

村松会長は「14年度は新しい分野の取り組みも始まる。今後も定期報告事業を中心に事業展開していく」とあいさつした。

14年度の主要事業は、建築物の定期報告業務の受託と調査者の紹介活動を引き続き展開する。新規事業として、長期優良住宅認定申請者の利便性を図るため、省エネ法に基づく定期報告の受託や、住宅事業建築主の判断基準への適合性評価などに取り組む。

議事ではこの他、13年度の事業報告と収支決算を承認した。

安全大会ニュース

日々の声かけなどで安全確保
木内建設が名古屋・浜松地区合同で

木内建設（静岡市駿河区、木内藤男社長）安全互助会は17日、浜松市内で名古屋・浜松地区の合同安全大会を開き、1年間の無事故・無災害を誓った。

木内社長＝写真＝は、出席した約160人の社員と協力会会員を前に「日々の声かけや作業時のチェックなど、ささいな積み重ねが安全で快適な現場につながる。この大会では一人一人が安全について考える意識を高め、今後も事故防止に努めてほしい」と、一層の安全意識の高揚を呼び掛けた。

また、互助会の竹内偉理事は「人手不足問題で現場作業はさらに慌ただしくなる。そういった中でも安全水準の低下は絶対に許されない」と話した。

大会では、優良作業所表彰、安全表彰を行った後、静岡県私学協会常務理事・松村龍夫氏の講演を聴き、最後に安全宣言をして災害ゼロを誓い合った。

パト強化など安全対策徹底
山本建設

山本建設（三島市、山本良一社長）と同社安全協力会（立田賢一会長）は19日、三島市内で2014年度労働安全推進大会を開き、出席した200人が労働災害の撲滅を誓った。

冒頭であいさつに立った山本社長＝写真＝は、県内の労災死が前年同期比で増加し、その中で建設業の割合が高いことについて触れ、「リーマンショック以降の厳しい環境下で、管理体制が十分に整っていないという見方がある。日頃のパトロールを強化するなどして安全対策をいっそう徹底していこう」と呼び掛けた。

大会では、安全優良社員として土木部の出崎裕貴氏と建築部の黒澤重紀氏の2人、安全優良協力会社として中部ロードデックと大栄仮設工業の2社、安全標語優良者として西島謙氏ら5人を表彰。また、静岡県東部危機管理局地域支援課の神谷弘樹主幹が、減災に向けて～巨大地震と日頃の備え～を演題に特別講演を行った。

重大災害ゼロ」今年こそ達成を
渡辺建設

渡辺建設（本社・裾野市、渡辺雄一社長）は19日、裾野市民文化センターで安全推進協力会（近藤宣孝会長）の2014年度総会と安全大会を開き、関係者86人が参加した。

はじめに近藤会長が業界の高齢化や若年労働者不足の問題を取り上げ、「魅力ある建設業を次の世代に伝えていきたい」と語った。

続いて渡辺社長＝写真＝が「昨年は重大災害ゼロ、災害発生件数前年対比減少の目標を達成することができなかった。ここにこそ、協力会と社員一丸となって達成させよう。また品質方針として、見せる・見て魅力を感じてもらえる現場を掲げていくので、方針に沿った現場での行動に取り組んでほしい」とあいさつした。

総会では、事業計画や収支予算など6議案を可決承認した。安全表彰では、永年優良事業者として栄久工業などをたたえた。講演では、「不一犁心女子学院の大原眞実校長が「地域と共に歩む」と題して話をした。

なお、総会に先立ち安全祈願が行われ、今年一年の安全を願った。

申し込み締め切り迫る！
「静岡県住まい博'14」出展社
今月末まで

静岡県住宅振興協議会（会長＝イベントを企画している。9月・池谷廣静岡県くらし・環境部長）では、6月30日まで「静岡県住まい博2014」への出展社を募集している。

「静岡県住まい博2014」は今回で50回目。静岡県住まい博実行委員会では、各種の記念イベントを企画している。9月13日から15日までの3日間、静岡市駿河区のツインメッセ静岡で開かれる。13年は約3万人が来場した。

ブースは、1小間（間口3・6㍍×奥行き2・7㍍×高さ2㍍）24万5000円（税抜き）。2小間目からは1小間につき21万5000円（税抜き）。

住宅建設・販売の他、地震対策、インテリア・エクステリア、マンション・不動産（リフォーム、暮らし全般（住宅設備、防犯、介護・福祉、その他）、公益的団体などが住まいに関するブースを募集している。

申し込みは、同学生と安倍川・藁科川の水生生物調査を行う。

同調査は、河川の水質を判定する材料として、水生生物を採取するもので、午前10時から11時30分まで藁科川富厚里橋下流部付近で、午後1時30分から3時まで安倍川南安倍川橋下流部付近で調査する。

調査には中藁科小学校5年生20人が参加、透明度の判定、水生植物の採取・観察、簡易水質検査を実施する。

新支部長に長内英憲氏
建築あと施工アンカー協会中部

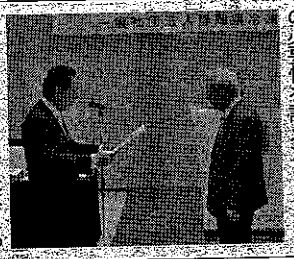
日本建築あと施工アンカー協会中部支部は20日、名古屋市内で第21回通常総会を開き、役員改選で長内英憲氏（ユニカ名古屋営業所）が新支部長に就任した。

あいさつに立った長内新支部長＝写真＝は「支部活動の中心は資格認定事業」と指摘。「他支部に比べてボリュームがあり、会員の協力なしには成り立たない」とさらなる協力を要請した。

鳥波会長再任や役員人事決める
県冷凍空調工業会

静岡県冷凍空調工業会は18日、静岡市内で第3回定時総会を開いた。役員改選では、鳥波益男会長の再任を含む役員人事を決めた。

鳥波会長は、2015年4月から本格施行される改正フロン法に触れ、「積年の努力が実り、冷媒を取り扱う事業者として、われわれの立場がようやく世間に認知されようとしている」と感慨深く語り、それに携わる者の覚悟と一層の努力の必要性を訴えた。



総会の中では、長年にわたる業界の発展と地球環境保護活動への貢献をたたえ、鳥波会長に頭彰を授与した＝写真＝。

収支予算など6議案を可決
FET工法協会

管路更生工法のFET工法協会（益田一会長）は5日、神戸市中央区のANAクラウンプラザホテル神戸で第23回定時総会を開催した。

議事では、2014年度事業計画や収支予算など6議案を審議し、全て全会一致で可決した。また報告事項では、管路更生の業種認定など2項目について報告された。

あす開催
静岡河川

静岡河川事務所はあす26日、地元小学生と安倍川・藁科川の水生生物調査を行う。

同調査は、河川の水質を判定する材料として、水生生物を採取するもので、午前10時から11時30分まで藁科川富厚里橋下流部付近で、午後1時30分から3時まで安倍川南安倍川橋下流部付近で調査する。

調査には中藁科小学校5年生20人が参加、透明度の判定、水生植物の採取・観察、簡易水質検査を実施する。